



図書館便り：「つなぐ」  
発行：本宿中学校図書館  
2020年 第3号

日ごとに秋の気配が深まってきました。読書に最適な季節です。9月に2年生で「仕事に関する本」を紹介しましたが、そこで紹介できなかった「お仕事小説」と呼ばれる本を紹介したいと思います。（1年生、3年生にも11月以降に本の紹介を予定しています）秋の読書週間（10月27日～）では、図書委員がイベントの企画を考えていますので、ぜひ図書館へ足を運んでみてくださいね♪

『発注いただきました!』

朝井リョウ／著 朝日新聞社

小説家になって10年。企業から原稿依頼が舞い込んだ。著者の朝井リョウ自身の苦労話も書かれている。



『イマジン?』

有川ひろ／著 幻冬舎

あこがれの映像制作の世界に飛び込んだ主人公・良井良助の、成長物語。



『店長がバカすぎて』

早見和真／著 角川

本が好きな主人公・谷原京子は、書店に勤務する派遣社員。書店の仕事のリアルも話題。



『線は、僕を描く』

砥上裕将／著 講談社

大学生の青山が水墨画と出会って、深い悲しみから浮上していく物語。



『タイタン』

野崎まど／著 講談社

人類はAI『タイタン』に仕事を任せ、自由を謳歌していた。社会は平和に保たれていたが…



『ツバキ文具店』

小川糸／著 幻冬舎

鎌倉にある文具店店主の雨宮鳩子は、手紙の代筆屋でもある。ドラマ化もされた本。



その他にもノンフィクションで

- 『キリン解剖学』 郡司芽久／著 ナツメ出版
- 『ドクターヘリの秘密』 和氣晃司／著 彩流社
- 『マンボウは上を向いてねむるのか』 澤井悦郎／著 ポプラ社

などもあります。おすすめです。



文豪と呼ばれる明治～昭和に活躍した作家と現代の人気イラストレーターがコラボした『乙女の本棚』シリーズ(立東舎)が本中図書館でも人気です。全巻読破した人が何人もいます。いずれの作品も高校の教科書で多く取り入れているものです。短編で読みやすいので、読んでいない人は、ぜひ挑戦してみてください。本中図書館には13作品あります。

『山月記』

中島敦：著  
ねこ助：イラスト  
立東舎 乙女の本棚



『夢十夜』

夏目漱石：著  
しきみ：イラスト  
立東舎 乙女の本棚



『蜜柑 (みかん)』

芥川龍之介：著  
げみ：イラスト  
立東舎 乙女の本棚



日本の天然記念物 ニホンカモシカ

日本の固有種で、北海道と中国地方を除いた険しい山岳地帯に生息しています。シカと名付けられていますが、実はウシの仲間です。天然記念物に指定された1955年には密猟などによって3000頭まで減少しましたが、現在は生息数が回復。その一方で、食害などの問題も起きています。



上記の「日本の固有種」とは、何でしょう？本中図書館には『固有種が教えてくれること』今泉忠明/監修(金の星社・全3巻)という本もあります。ぜひ調べてくださいね。請求番号は【482—1】です。

《あらすじ文学クイズ》

Q.これは  
どの作品でしょう？

不登校の中学生の少女は、一緒に暮らすことになった祖母の元で、なぜか魔女になる修行を始めることに……？

- A 『オズの魔法使い』 ライマン・フランク・ボーム
- B 『西の魔女が死んだ』 梨木香歩
- C 『西の善き魔女』 荻原規子

『オズの魔法使い』ライマン・フランク・ボーム  
『西の魔女が死んだ』梨木香歩  
『西の善き魔女』荻原規子